

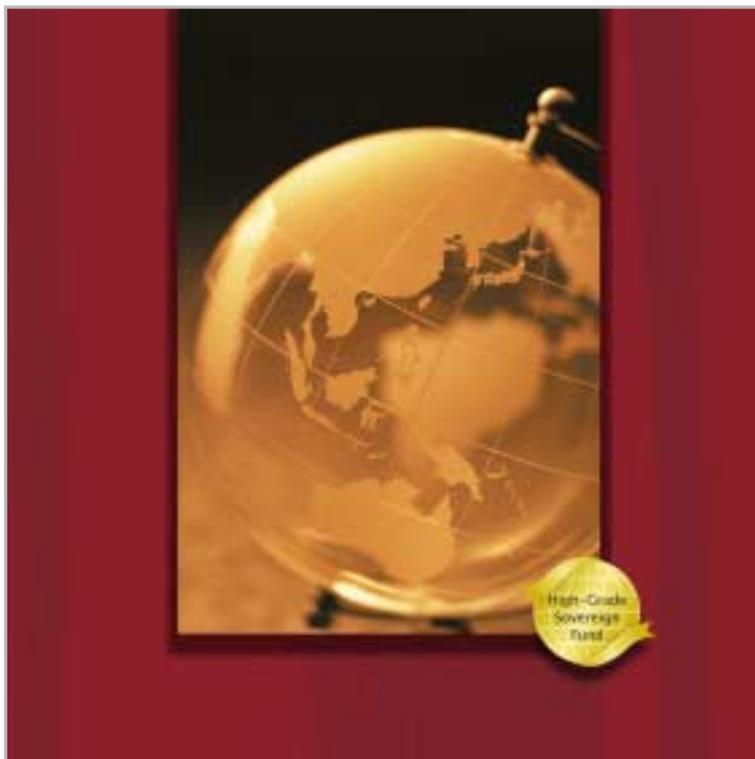
# 投資信託説明書(交付目論見書)

平成22年9月18日

## りそな ハイグレード・ソブリン・ファンド(毎月決算型)

追加型投信／海外／債券

※本文書は、金融商品取引法(昭和23年法律第25号)第13条の規定に基づく目論見書です。



## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

- 委託会社 [ファンドの運用の指図を行なう者]  
大和証券投資信託委託株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
- ホームページ <http://www.daiwa-am.co.jp/>
- コールセンター 0120-106212(営業日の9:00~17:00)
- 受託会社 [ファンドの財産の保管及び管理を行なう者]  
株式会社りそな銀行

ファンドに関する投資信託説明書(請求目論見書)を含む詳細な情報は委託会社のホームページで閲覧、ダウンロードすることができます。また、本書には約款の主な内容が含まれていますが、約款の全文は請求目論見書に掲載されています。

商品分類			属性区分				
単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産 (収益の源泉)	投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替ヘッジ
追加型	海外	債券	その他資産 (投資信託証券 (債券 公債 高格付債))	年12回 (毎月)	グローバル (除く日本)	ファミリー ファンド	なし

※商品分類・属性区分の定義について

くわしくは、社団法人投資信託協会のホームページ〔<http://www.toushin.or.jp/>〕をご参照下さい。

#### 〈委託会社の情報〉

委 託 会 社 名 大和証券投資信託委託株式会社

設 立 年 月 日 1959年12月12日

資 本 金 151億74百万円

運用する投資信託財産の  
合 計 純 資 産 総 額 9兆3,944億91百万円

(平成22年7月末現在)

- 本文書により行なう「リソな ハイグレード・ソブリン・ファンド（毎月決算型）」の募集については、委託会社は、金融商品取引法第5条の規定により、有価証券届出書を平成22年9月17日に関東財務局長に提出しており、平成22年9月18日にその届出の効力が生じています。
- 当ファンドは、商品内容に関して重大な変更を行なう場合に、投資信託及び投資法人に関する法律に基づき、事前に受益者の意向を確認する手続きを行ないます。
- 当ファンドの信託財産は、受託会社により保管されますが、信託法によって受託会社の固有財産等との分別管理等が義務付けられています。
- 請求目論見書は、投資者の請求により販売会社から交付されます（請求を行なった場合には、その旨をご自身で記録しておくようにして下さい）。
- ご購入に際しては、本書の内容を十分にお読み下さい。

## ファンドの目的

- 海外のソブリン債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざします。

## ファンドの特色

### 1 海外のソブリン債等に投資します。

※「ソブリン債等」とは、国債、政府機関債、中央政府により発行・保証された債券、国際機関債などをいいます。

- **ドル通貨圏**（米ドル、カナダ・ドルおよびオーストラリア・ドル等）、**欧州通貨圏**（ユーロ、ポンドおよび北欧通貨等）の2つの通貨圏への投資割合をそれぞれ信託財産の純資産総額の50%程度ずつとすることを基本とします。（上記の投資割合は10%の範囲内で変動することがあります。）

※北欧通貨：スウェーデン・クローネ、デンマーク・クローネ、ノルウェー・クローネ

- **ドル通貨圏内**では米ドルへの投資割合を50%程度、**欧州通貨圏内**ではユーロへの投資割合を50%程度とすることを基本とします。

※欧州通貨圏の投資対象通貨がユーロに統合される場合は、統合される通貨で実際に投資されている比率をユーロで実際に投資されている比率に加算した比率に基づいて、配分比率を見直します。

### ポートフォリオのイメージ図

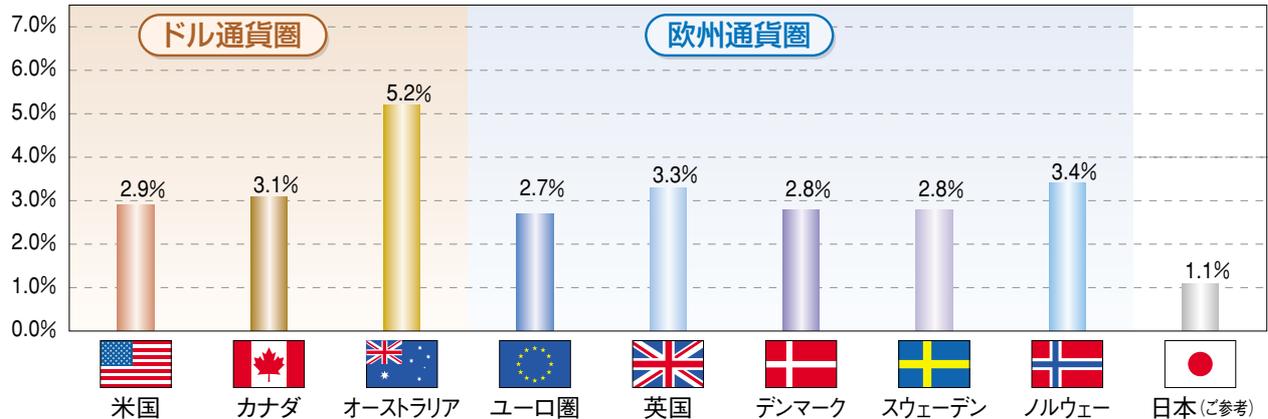


(注) 上図はイメージ図であり、実際の投資割合が上図のとおりとなるとは限りません。

# ファンドの目的・特色

## 各国の10年国債利回り

(平成22年7月末現在)



※日本は投資対象国ではありませんが、参考までに表示しています。  
 ※外貨建資産には為替リスクがあります。表示の利回りは税引前です。  
 ※10年国債で運用することを示唆するものではありません。  
 ※当ファンドが上記の利回りで運用されることを示唆するものではありません。  
 ※ユーロ圏はドイツ国債の利回りを使用しています。

(出所) ブルームバーグ

## 2 国債の格付けは、取得時においてA格相当以上※<sup>1</sup>、国債以外の格付けは、取得時においてAA格相当以上※<sup>2</sup>とすることを基本とします。

### 投資対象の格付けについて



債券の格付けとは、償還時までの債券の元本、利息の支払いの確実性に関する将来の見通しを示すもので、ムーディーズやスタンダード・アンド・プアーズ(S&P)といった格付機関が各債券の格付けを行なっています。付与された格付けは、随時見直しが行なわれ、発行体の財務状況の変化などによって格上げや格下げが行なわれることがあります。

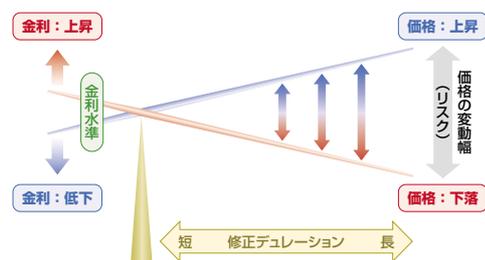
※<sup>1</sup> ムーディーズでA3以上またはS&PでA-以上  
 ※<sup>2</sup> ムーディーズでAa3以上またはS&PでAA-以上

●ポートフォリオの修正デュレーションは5(年)程度から10(年)程度の範囲を基本とします。

### 修正デュレーションについて

- 修正デュレーションとは、「金利が変動したときに債券価格がどのくらい変化するか」を示す指標です。
- 修正デュレーションが長いほど、金利が変動したときの債券価格の変動(ブレ幅)が大きくなります。

金利変動と修正デュレーションの関係(イメージ図)

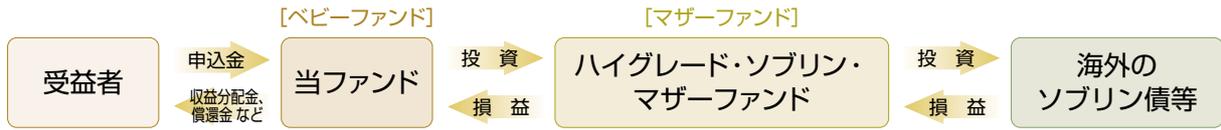


●金利リスク調整のため、ドル通貨圏と欧州通貨圏の通貨建ての国債先物取引等を利用することがあります。

## ファンドの仕組み

- 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行いません。

ファミリーファンド方式とは、投資家のみなさまからお預かりした資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。



- マザーファンドの受益証券の組入比率は、通常の状態では信託財産の純資産総額の90%程度以上に維持することを基本とします。
- 外貨建資産への投資にあたっては、ドル通貨圏と欧州通貨圏の通貨建資産の投資比率合計を、信託財産の純資産総額の100%に近づけることを基本とします。
- 保有実質外貨建資産の為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは行ないません。

- 大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記1.および2.の運用が行なわれないことがあります。

# 3 毎月1回決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行いません。 決算日は、毎月9日（休業日の場合翌営業日）です。

### 〈分配方針〉

- ①分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とします。
- ②原則として、安定した分配を継続的に行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、基準価額の水準等によっては、上記にかかわらず今後の安定分配を継続するための分配原資の水準を考慮したうえで分配を付加することがあります。なお、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

### 収益分配のイメージ



- 上図はイメージ図であり、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。
- 分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。
- ファンドの基準価額は変動します。投資元本、利回りが保証されているものではありません。

### 主な投資制限

- マザーファンドの受益証券への投資割合には、制限を設けません。
- 株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使等により取得したものに限りません。
- 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。

## 基準価額の変動要因

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。

### 〈主な変動要因〉

公社債の価格変動 (価格変動リスク・信用リスク)	公社債の価格は、一般に金利が低下した場合には上昇し、金利が上昇した場合には下落します。また、公社債の価格は、発行体の信用状況によっても変動します。特に、発行体が債務不履行を発生させた場合、またはその可能性が予想される場合には、公社債の価格は下落します。組入公社債の価格が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。
為替変動リスク	外貨建資産については、資産自体の価格変動のほか、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。組入外貨建資産について、当該外貨の為替レートが円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。
カントリー・リスク	投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想外に下落したり、方針に沿った運用が困難となることがあります。
その他	解約資金を手当てするため組入証券を売却する際、市場規模や市場動向によっては市場実勢を押下げ、当初期待される価格で売却できないこともあります。この場合、基準価額が下落する要因となります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

## その他の留意点

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

## リスクの管理体制

- 委託会社では、取締役会が決定した運用リスク管理に関する基本方針に基づき、運用本部から独立した部署および会議体が直接的または間接的に運用本部へのモニタリング・監視を通し、運用リスクの管理を行います。

2010年7月30日現在  
基準価額・純資産の推移

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

基準価額	7,396円
純資産総額	576億円

基準価額の騰落率	
期間	ファンド
1カ月間	1.7%
3カ月間	-4.6%
6カ月間	-0.1%
1年間	-3.0%
3年間	-14.3%
5年間	-
設定来	-3.3%



※上記の「基準価額の騰落率」とは、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※基準価額の計算において信託報酬は控除しています。

## 分配の推移 (10,000口当たり、税引前)

直近1年間分配金合計額: 600円      設定来分配金合計額: 2,430円

決算期	第37期	第38期	第39期	第40期	第41期	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期	第48期
	09年8月	09年9月	09年10月	09年11月	09年12月	10年1月	10年2月	10年3月	10年4月	10年5月	10年6月	10年7月
分配金	50円	50円	50円	50円	50円	50円	50円	50円	50円	50円	50円	50円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

## 主要な資産の状況

※比率は、純資産総額に対するものです。

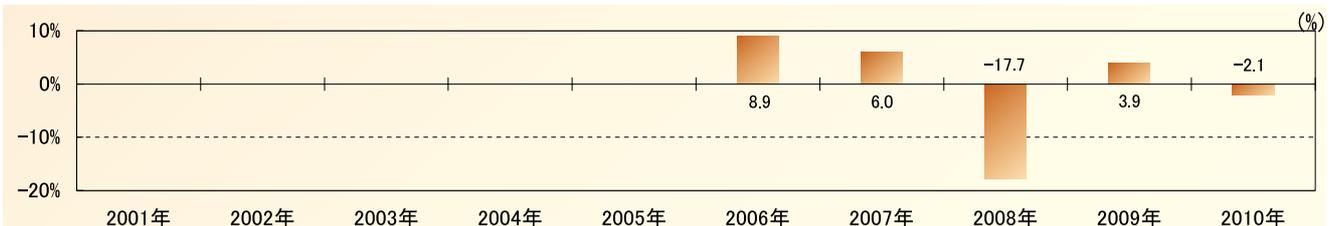
資産別構成	銘柄数	比率	通貨別構成	比率	債券ポートフォリオ特性値	組入上位10銘柄	償還日	比率
外国債券	45	97.3%	ドル通貨圏	49.5%	直接利回り(%)	UNITED KINGDOM GILT BOND	2021/06/07	12.4%
			米ドル	23.1%	最終利回り(%)	U.S. TREASURY BOND	2021/05/15	9.9%
コール・ローン、その他		2.7%	カナダ・ドル	13.3%	修正デュレーション	CANADIAN GOVERNMENT BOND	2025/06/01	9.0%
合計	45	100.0%	豪ドル	13.1%	残存年数	AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND	2019/03/15	6.1%
債券種別構成			欧州通貨圏	50.1%	格付別構成	ITALIAN GOVERNMENT BOND	2020/03/01	5.2%
国債		92.7%	ユーロ	25.9%	AAA	BELGIUM GOVERNMENT BOND	2020/09/28	3.5%
国際機関債		3.5%	英ポンド	18.8%	AA	U.S. TREASURY BOND	2023/08/15	3.4%
政府機関債		1.1%	北欧通貨	5.4%	A	BELGIUM GOVERNMENT BOND	2015/03/28	3.1%
					BBB	UNITED KINGDOM GILT BOND	2017/08/25	2.9%
					BB以下	U.S. TREASURY BOND	2024/11/15	2.8%
合計		97.3%	合計(除く日本円)	99.6%	合計	合計		58.2%

※格付別構成の比率は、債券ポートフォリオに対するものです。

※格付別構成について、日系発行体はR&I、JCR、Moody's、S&P、Fitchの順で格付けを採用し、海外発行体はMoody's、S&Pの格付けの高い方を採用し、算出しています。

## 年間収益率の推移

当ファンドにはベンチマークはありません。



・ファンドの「年間収益率」は、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。

・2006年は設定日(6月12日)から年末、2010年は7月30日までの騰落率を表しています。

最新の運用実績は、委託会社のホームページ、または販売会社でご確認いただけます。

## お申込みメモ

購入単位	最低単位を1円単位または1口単位として販売会社が定める単位
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額（1万口当たり）
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払い下さい。
換金単位	最低単位を1口単位として販売会社が定める単位
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額（1万口当たり）
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
申込受付中止日	シカゴ商品取引所における米国債先物取引またはロンドン国際金融先物取引所（LIFFE）におけるイギリス国債先物取引のいずれかの休業日 （注）お申込受付中止日は、販売会社または委託会社にお問合わせ下さい。
申込締切時間	午後3時まで（販売会社所定の事務手続きが完了したもの）
購入の申込期間	平成22年9月18日から平成23年6月2日まで （終了前に有価証券届出書を提出することにより更新されます。）
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行なうために大口の換金申込には制限があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情があるときは、ご換金の申込みの受付を中止することがあります。
信託期間	無期限（平成18年6月12日当初設定）
繰上償還	次のいずれかの場合には、委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了させること（繰上償還）ができます。 ・受益権の口数が30億口を下ることとなった場合 ・信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるとき ・やむを得ない事情が発生したとき
決算日	毎月9日（休業日の場合翌営業日）
収益分配	年12回、収益分配方針に基づいて収益の分配を行いません。 （注）当ファンドには、「分配金再投資コース」と「分配金支払いコース」があります。なお、お取扱い可能なコースおよびコース名については異なる場合がありますので、販売会社にお問合わせ下さい。
信託金の限度額	5,000億円
公 告	電子公告の方法により行ない、ホームページ（ <a href="http://www.daiwa-am.co.jp/">http://www.daiwa-am.co.jp/</a> ）に掲載します。
運用報告書	毎年3月および9月の計算期末に作成し、あらかじめお申出いただいたご住所にお届けします。また、電子交付を選択された場合には、所定の方法により交付します。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。配当控除、益金不算入制度の適用はありません。

## ファンドの費用・税金

### 〈ファンドの費用〉

#### 投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	販売会社が別に定めるものとします。 ご購入時の申込手数料の料率の上限は、 <b>2.1%（税抜2.0%）</b> です。
信託財産留保額	ありません。

#### 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）	毎日、信託財産の純資産総額に対して年率1.3125%（税抜1.25%） ※運用管理費用は、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>〈運用管理費用の配分〉</th> <th>委託会社</th> <th>販売会社</th> <th>受託会社</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>500億円未満の場合</td> <td rowspan="3">販売会社および受託会社への配分を除いた額</td> <td>年率0.735%（税抜0.70%）</td> <td rowspan="3">年率0.0525% （税抜0.05%）</td> </tr> <tr> <td>500億円以上1,000億円未満の場合</td> <td>年率0.7875%（税抜0.75%）</td> </tr> <tr> <td>1,000億円以上の場合</td> <td>年率0.84%（税抜0.80%）</td> </tr> </tbody> </table>		〈運用管理費用の配分〉	委託会社	販売会社	受託会社	500億円未満の場合	販売会社および受託会社への配分を除いた額	年率0.735%（税抜0.70%）	年率0.0525% （税抜0.05%）	500億円以上1,000億円未満の場合	年率0.7875%（税抜0.75%）	1,000億円以上の場合	年率0.84%（税抜0.80%）
〈運用管理費用の配分〉	委託会社	販売会社	受託会社										
500億円未満の場合	販売会社および受託会社への配分を除いた額	年率0.735%（税抜0.70%）	年率0.0525% （税抜0.05%）										
500億円以上1,000億円未満の場合		年率0.7875%（税抜0.75%）											
1,000億円以上の場合		年率0.84%（税抜0.80%）											
その他の費用・手数料	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただけます。 ※「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。												

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

### 〈税金〉

- ・税金は表に記載の時期に適用されます。
- ・以下の表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

時 期	項 目	税 金
分 配 時	所得税及び地方税	<b>配当所得として課税</b> 普通分配金に対して10%
換金(解約)時及び償還時	所得税及び地方税	<b>譲渡所得として課税</b> 換金(解約)時及び償還時の差益(譲渡益)に対して10%

※上記は、平成22年7月末現在のものですので、税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。

※法人の場合は上記とは異なります。

※税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。